

自転車安全利用五則

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

罰 3月以下の懲役又は5万円以下の罰金
(道路交通法第17条)

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。歩道と車道の区別があるところは車道通行が原則です。ただし、道路外の施設や場所に出入りするため、やむを得ず歩道又は路側帯を横断するときは除きます。また、児童・幼児・高齢者(70歳以上)及び車道通行に支障がある身体の不自由な人が運転する場合、また車道通行が危険な場合も歩道通行ができます。



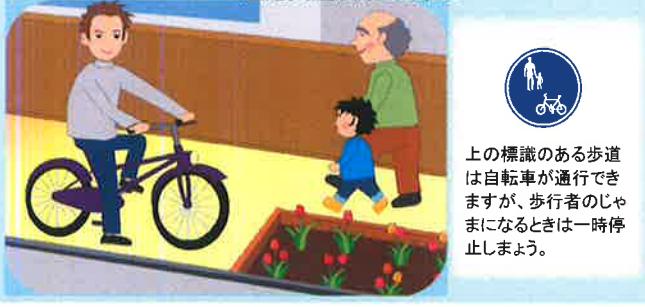
2 車道は左側を通行

罰 3月以下の懲役又は5万円以下の罰金
(道路交通法第17・18条)



3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

罰 2万円以下の罰金又は料金
(道路交通法第63条の4)



上の標識のある歩道は自転車が通行できますが、歩行者のじゃまになるときは一時停止しましょう。

4 安全ルールを守る

飲酒運転の禁止



罰 5年以下の懲役
又は100万円以下の罰金
(道路交通法第65条)

二人乗りの禁止



罰 2万円以下の罰金
又は料金
(道路交通法第55・57条)

信号を守る

罰 3カ月以下の懲役
又は5万円以下の罰金
過失10万円以下の罰金
(道路交通法第7条)



交差点での一時停止と安全確認

罰 3カ月以下の懲役
又は5万円以下の罰金
過失10万円以下の罰金
(道路交通法第43条)



5 子どもはヘルメットを着用

(道路交通法第63条の11)



児童(6歳以上13歳未満)・幼児(6歳未満)を自転車に乗車させる時は、ヘルメットを着用させるよう努めなければなりません。

携帯電話やヘッドホンを使用しての運転、傘差し運転等も禁止されています。



※ブレーキ不良自転車の運転禁止(5万円以下の罰金・過失同じ)

自転車の悪質な交通違反は検挙され罰金を支払うこともあります。